

# モジャコ情報 (平成17年用船調査結果)

調査期間：平成17年3月15日  
 調査船：モジャコ漁船 9隻  
 調査海域：西薩，南薩，屋久島，種子島，大隅

鹿児島県水産技術開発センター  
 平成17年3月17日発行

## 1【海況】・・・“かなり低め”から“著しく低め”

- ・ 黒潮北縁域は屋久島の南4.8マイル付近にあり(3月16日現在)，離岸傾向にある。
- ・ 定期船による観測(3月16日現在)では，黒潮流域で21.30 (かなり低め)，薩南海域で17.20 (著しく低め)，西薩海域で14.50 (かなり低め)であった。

1 平年値は，昭和56年から平成12年までの平均値。

## 2【調査結果】

### (1) 流れ藻の分布・・・昨年同期に比べて少ない

- ・ 流れ藻の視認個数は合計150個であり，10マイル当たり1.5個で，昨年同期(1.8個/10マイル)に比べて少ない。また，平年(4.1個/10マイル)に比べて少ない。
- ・ 採取した流れ藻重量は0.5～70.0kg(平均7.5kg)で，昨年同期(0.2～11.2kg，平均3.0kg)に比べ大型の藻である。
- ・ 甌島北の潮目で50個の大量の流れ藻が見られた他，甌島西の潮目で20個，馬毛島西の潮目で30個，中之島の南東で流れ藻が見られた以外は，調査海域全域で流れ藻が少なかった。

### (2) モジャコの付着状況・・・昨年同期に比べ非常に少ない

- ・ 採取した流れ藻は41個であり，流れ藻1kg当たりの付着尾数は1.0尾/kgで，昨年同期(19.5尾/kg)に比べて非常に少ない。また，平年(7.7尾/kg)に比べて少ない。
- ・ 採捕尾数は合計298尾で，昨年(1,847尾)の16.1%と非常に少なかった。

### (3) モジャコの大きさ・・・昨年同期に比べて大型

- ・ 採捕したモジャコの全長は平均40.2mm(範囲：20～79mm，モード：30～34mm)であり，昨年同期(32.4mm)に比べて大型である。また，平年(47.4mm)に比べて小型である。

2 平成10年から平成16年までの3月中旬(用船調査)の平均値。

表1 海況及びモジャコの付着状況(3月中旬用船調査)

調査項目	海域	平成17年	平成16年	平成15年	平成14年	平成13年	平成12年	過去5年平均	平年(H10～16)
流れ藻視認個数 (10マイル当たり)	大隅	0.4	0.1	0.9	16.6	0.4	0.2	3.6	3.1
	種子島	0.7	0.5	7.6	6.8	5.9	3.3	4.8	4.1
	屋久島	1.3	2.1	3.5	15.3	1.5	3.1	5.1	4.3
	南薩	0.6	2.3	6.7	10.4	1.8	2.1	4.7	4.1
	西薩	3.5	3.1	4.7	15.5	1.3	2.3	5.4	4.9
	平均(全海域)	1.5	1.8	4.7	12.9	2.1	2.3	4.8	4.1
流れ藻1kg当たり のモジャコ付着尾数	大隅	0.6	7.9	0.8	19.3	0.4	231.4	52.0	48.0
	種子島	2.1	84.4	2.1	11.0	2.3	16.1	23.2	21.1
	屋久島	1.6	13.5	0.9	7.8	2.8	13.5	7.7	13.8
	南薩	0.0	11.2	0.7	7.2	0.4	21.5	8.2	7.2
	西薩	0.6	4.8	0.1	0.7	0.8	0.7	1.4	1.5
	平均(全海域)	1.0	19.5	1.0	6.7	1.2	11.4	8.0	7.7
モジャコ平均全長 (mm)	大隅	44.2	31.2	50.8	39.8	55.0	49.0	45.2	47.5
	種子島	42.8	34.5	48.8	41.3	48.4	44.6	43.5	46.2
	屋久島	37.6	30.8	52.2	41.8	43.2	62.4	46.1	49.4
	南薩	45.3	29.8	50.4	38.3	58.2	48.5	45.0	44.2
	西薩	33.1	25.1	50.8	37.8	45.8	44.2	40.7	40.2
	平均(全海域)	40.2	32.4	50.1	40.7	47.9	51.1	44.4	47.4
定期船観測による 各海域の3月中旬 平均水温( )	黒潮流域		22.47	22.46	22.90	22.22	22.25	22.46	22.19
	薩南海域		17.78	19.61	20.62	19.14	20.22	19.47	19.54
	西薩海域		16.92	16.49	17.22	16.28	18.48	17.08	17.33

3 定期船観測による各海域の平均水温( )の平年値は，S56～H12の平均である。